



JALしまねびより

特集 | 第9回通常総代会

JAしまね国消国産CM放映中!



2023

JAしまね第9回通常総代会を6月25日(日)、
浜田市の石央文化ホールで開催しました。



今年で第9回を数える通常総代会を6月25日(日)、
浜田市の石央文化ホールで開催しました。

4年ぶりの通常開催となり、当日は、総代定数
1,000人(欠員23人)に対し、956人(書面議
決を含む)が出席。議長団に、足野隆二総代(雲
南地区本部)、向濱樽幸総代(隠岐どうぜん地区
本部)の両氏を選出し、各地区本部総代から意見、
要望が出される中、前年度事業報告、新年度事業
計画など全議案が可決承認されました。

石川寿樹組合長は「令和5年度は、米国の急激な金利上昇の影響を受
けた農林中央金庫の決算悪化による還元減少や電気料金の高騰など、前
年度と比較すると約5億円の収益減が見込まれる中ではあるが、役職員
一体となって頑張っていく所存だ。JAの使命はなんと言っても農業振
興を实践すること。そのためには盤石な経営基盤の確立が必要であり、
引き続き改革を進めていく。さらに、5年度からは新たに『自動車燃料
事業の県域会社化検討プロジェクト』『ホームセンター連携検討プロジェ
クト』『しまねの米粉・有機農業検討プロジェクト』の3つの検討プロジェ
クトにも取り組んでいく」とあいさつしました。

また今回、食料安全保障の強化に向けた食料・農業・農村基本政策の
確立に関する特別決議が、満場一致で採択されました。

今後、この決議に基づき、政府・与党に対し、食料・農業・農村基本
法の見直しや生産資材高騰対策、食料安全保障対策予算の確保など食料
安全保障の強化に向けた食料・農業・農村基本政策の確立を求めるとと
もに、「不断の自己改革」を通じて農業生産基盤の確立や経営基盤の強
化を進めていきます。さらに、食と農や国産農畜産物の適正な価格形成
の実現に向け「国消国産」をキーメッセージに、消費者・事業者などへ
理解醸成・行動変容を促す取り組みを展開していきます。



議長団 足野隆二 総代(左) 向濱樽幸 総代(右)



石川寿樹 代表理事組合長

食料安全保障の強化に向けた食料・農業・農村基本政策の確立 に関する特別決議(要)

世界的な気候変動等による食料生産の不安定化やアジアによるウチ
ライナ産品に起因した部々影響により、肥料や燃料・飼料原料などを
遠隔地輸入に依存しているのが国の食料安定供給リスクが顕在化して
おり、生産資材価格が高止まりする一方、国産農畜産物は、生産コスト
増高分の価格転嫁がすすまず、生産現場で悲惨的な状況が続いている。

このような中、政府・与党は、今後数十年の農政を方向付ける食料・
農業・農村基本法の見直しに向けた検討を開始し、昨年からは「食料安
全保障強化政策大綱」を策定した。

JAグループとしては、政府・与党に対し、食料・農業・農村基本法
の見直しをはじめ、生産資材高騰対策や食料安全保障対策予算の確保な
ど、食料安全保障の強化に向けた食料・農業・農村基本政策の確立を求
めている。

一方、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」というJAグ
ループは、「不断の自己改革」に北方で取り組むことを通じ、農業生産
基盤の確立、地域・組織・事業基盤の確立、経営基盤の強化をすすめる。

さらに、「安全・安心な国産農畜産物を安定的に供給する」というJAグ
ループの使命を果たすとともに、わが国の食と農に対する国民理解の醸
成と国産農畜産物の適正な価格形成の実現に向け、「国消国産」をキー
メッセージに、消費者・事業者等への理解醸成・行動変容を促す取り
組みを強力に展開する。

以上、決議する。

令和5年6月25日

第9回 農林中央金庫協議会 通常総代会



第9回

通常総代会特集

令和4年度 事業報告

JAグループにおいては、引き続き「不
断の自己改革」に全
力で取り組むことを
通じ、農業生産基盤

を拡大・収束を繰り返すなかでウィズコロナへ行
動様式が移行するなか、景気は緩やかに持ち直
しが続いていました。しかし、ロシア軍による
ウクライナ侵攻以降、国際情勢の緊迫、加えて
急激な円安が進んだことにより、肥料・飼料を
はじめとした資源価格は高騰を続け、農業経営
に深刻な影響を与えました。

鳥根県内の経済においては、ウィズコロナの
下、個人消費や雇用情勢等持ち直しつつあり、
全体的に回復基調の兆しが見受けられますが、
国際情勢等を踏まえた為替や物価の動向、再度
のコロナ感染症拡大等のリスクについて、引き
続き注視していく必要があります。

農業情勢においては、5月から6月にかけて
の降雹被害、7月・8月の全国域の大雨被害、
9月の台風被害、1月には大雪被害等により、
各地で農産物・農業施設等に甚大な被害をもた
らした他、10月には

岡山県の農場を発端
に発生した鳥インフ
ルエンザが例を見な
い速さで蔓延してお
り、復興・防疫の取
り組みを引き続き進
めていく必要があります。



山根盛治 代表理事副組合長



日高光弘 代表理事専務

の確立、地域・組織・事業基盤の確立、経営基
盤の強化をすすめるとともに、わが国の食と農
に対する国民理解の醸成と国産品の確立に向
けた取り組みをすすめました。

こうした状況の中、令和4年度は、「第3次
農業戦略実践3カ年当農計画」の初年度として、
鍵となる園芸振興、担い手確保・育成、また営
農指導と経営指導を通じた農業者の所得増大、
農業生産の拡大に向けた取り組みを実施しまし
た。

取組みの結果、販売品販売・取扱高が38
0億42百万円、購買品供給高が330億18百万
円、貯金残高が1兆98億74百万円、貸出金残高
が2,819億39百万円、長期共済保有高2兆
9,059億21百万円となりました。また、財
務状況の安全性を示す指標である自己資本比率
は13・30%とな
りました。

収支面につい
ては、事業利益
が2億35百万
円、経常利益は
16億5百万円と
なり、当期剰余
金は8億22百万
円となりました。

貯金残高	1兆98億74百万円
貸出金残高	2,819億39百万円
長期共済保有高	2兆9,059億21百万円
自己資本比率	13.30%
事業利益	2億35百万円
経常利益	16億5百万円
当期剰余金	8億22百万円
販売品販売・取扱高	380億42百万円
購買品供給高	330億18百万円

【議案】

- 本総代会にて付議した議案は次のとおりです。
- 第1号議案 令和4年度事業報告及び剰余金処分案について
 - 第2号議案 令和5年度事業計画の設定について
 - 第3号議案 定款及び定款附属書総代選挙規定の一部変更について
(特別決議案)
 - 第4号議案 子会社の設立及び出資について
 - 第5号議案 子法人の設立及び出資について
 - 第6号議案 西ノ島町特定地域づくり事業協同組合への加入について
 - 第7号議案 令和5年度指導事業に要する経費の賦課及び徴収の方法の決定について
 - 第8号議案 令和5年度における理事の報酬額の決定について
 - 第9号議案 令和5年度における監事の報酬額の決定について



財務・事業成績の推移

(単位：百万円)

区分	項目	第8事業年度(令和3年度)	第9事業年度(令和4年度)
財 務	事業利益	575	235
	経常利益	1,901	1,605
	当期剰余金	675	822
	総資産	1,138,905	1,114,893
	純資産	78,694	76,196
信 用 事 業	貯金	1,011,169	1,009,874
	預金	576,348	553,660
	貸出金	279,400	281,939
	有価証券	147,067	143,308
	国債	52,865	52,945
	その他	94,201	90,363
共 済 事 業	長期共済保有高	3,045,745	2,905,921
	短期共済新契約掛金	9,054	8,951
購 買 事 業	購買品供給高	28,557	33,018
販 売 事 業	販売品販売・取扱高	38,252	38,042

(注1) 貯金は譲渡性貯金を含む。

(注2) 購買品供給高及び販売品販売高は総額で記載しており、損益計算書における金額とは一致しません。

令和4年度(第9事業年度)剰余金処分

(単位：円)

1. 当期末処分剰余金	1,976,105,424
2. 剰余金処分量	1,406,593,315
(1)利益準備金	165,000,000
(2)任意積立金	1,000,000,000
教育研修充実積立金	100,000,000
BIS規制強化対応積立金	100,000,000
経営安定化積立金	100,000,000
経営基盤強化積立金	600,000,000
施設等更新積立金	100,000,000
(3)出資配当金	210,339,918
(4)事業分量配当金	31,253,397
3. 次期繰越剰余金	569,512,109

- [注] 1 出資配当金は年1.0%の割合である。
 2 事業の利用分量に対する配当の基準は、令和4年7月から令和5年3月までの肥料の供給高に対し2%の割合とする。
 3 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善事業の費用に充てるための繰越額41,115千円と、地区本部業績還元のために充てるための繰越額50,000千円が含まれている。

組合員数

(単位：組合員数)

資格区分	前期末	当期増加	当期減少	当期末		
正組合員	個 人	59,448	511	2,477	57,482	
	法人	農事組合法人	246	3	4	245
		その他の法人	248	16	6	258
		計	59,942	530	2,487	57,985
准組合員	個 人	158,299	2,114	4,680	155,733	
	農業協同組合	-	-	-	-	
	農事組合法人	18	-	1	17	
	その他の団体	1,784	16	83	1,717	
	計	160,101	2,130	4,764	157,467	
合 計	220,043	2,660	7,251	215,452		

出資口数

(単位：口)

資格区分	当期首	当期増加	当期減少	当期末		
正組合員	個 人	15,480,475	227,613	651,948	15,056,140	
	法人	農事組合法人	27,719	531	238	28,012
		その他の法人	30,137	693	1,625	29,205
		計	15,538,331	228,837	653,811	15,113,357
准組合員	個 人	5,885,592	277,838	285,370	5,878,060	
	農業協同組合	-	-	-	-	
	農事組合法人	1,468	11	11	1,468	
	その他の団体	90,211	299	3,217	87,293	
	計	5,977,271	278,148	288,598	5,966,821	
処分未済持分	146,874	136,552	146,874	136,552		
合 計	21,662,476	643,537	1,089,283	21,216,730		

摘要：(1) 出資一口金額 1,000円
 (2) 当期末払込済出資総額 21,216,730,000円



令和4年度 主な事業活動と成果

令和4年度は、「第3次農業戦略実践3カ年営農計画」の初年度として、鍵となる園芸振興、担い手確保・育成、また営農指導と経営指導を通じた農業者の所得増大、農業生産の拡大に向けた取り組みを実施しました。

販売事業

米穀は令和4年産の島根県における水稻の作況指数が101（前年100）となり、主食用の収穫量は83,600 tで、前年産比2,400 tの減となりました。また、4年産米の集荷数量は令和5年3月末現在で33,900 tとなり、出荷契約に対する集荷進捗は94.9%、前年対比では96.3%となりました。

園芸

島根ぶどうは継続的にSNSを活用した消費宣伝を行ったことや、高単価の早い時期への出荷誘導を行い、デラウェアについてはkg単価において過去最高を更新する1,423円（税別）となりました。島根ぶどう全体では、シャインマスカットが大きく伸びたこともあり、14年ぶりに販売金額20億円を達成することが出来ました。玉ねぎは、広域調製保管施設の稼働開始に伴い、面積拡大、販売額の大幅な増加につながりました。西条柿は、生産者と共に3年ぶりとなる量販店での販売促進に取り組みました。



玉ねぎは、広域調製保管施設の稼働開始に伴い、面積拡大、販売額の大幅な増加につながりました。西条柿は、生産者と共に3年ぶりとなる量販店での販売促進に取り組みました。

畜産

コロナ禍による外食産業を中心とした消費減退や円安の影響を受けた飼料価格高騰など自助努力で回避できない大きな問題が次々と畜産経営に影響を与えるなか、生産者組織・関係機関と共に畜産物の消費拡大と、購買者誘致・肉質データ提供による有利販売等販路拡大に取り組みました。

第12回全国和牛能力共進会では第6区総合評価群肉牛群で1位、併せて特別賞「脂肪の質賞」を受賞し種牛群との総合評価で全国3位を獲得した他、肉牛群の第7区・第8区でそれぞれ優等賞2席を獲得し、肉牛群出品全3区において好成績を収めました。また、特別区では島根県代表として出場した県立出雲農林高校は総合成績で優等賞5席、併せて特別賞「顔品賞」を受賞しました。オール島根で臨んだ今大会では肉牛群を中心として好成績をおさめることができました。

酪農に関しては、乳業メーカーとの乳価値上げ交渉について指定生乳生産者団体である中国生乳販連（中国生乳販売農業協同組合連合会）を通じて行き、生乳1kg当り15円の要求に対し、令和4年11月から10円/kgの回答を了承しました。



資材

肥料・農薬については、昨年に引き続き肥料統一銘柄7品目、農薬統一銘柄8品目を継続して選定し、品目集約による価格低減を図り、組合員へ還元しました。また、価格低減となる担い手直送超大型規格農薬の普及に取り組みました。なお、肥料・飼料価格高騰を受け、JAしまね独自による「肥料・飼料高騰対策」を実施し、農家支援を行いました。

農機事業

JAと全農共同出資の県域会社設立に向け、全農及び地区本部、子会社と協議を進めました。

信用事業

貯金の大宗を占める個人貯金については、総合事業体であるJAの特性を活かし、「しまね和牛」をプレゼントするキャンペーンを実施し、農畜産物消費拡大、農家所得の向上に取り組みました。貸出金については、コロナ対策及び原油や飼料・肥料等の価格高騰対策として、「令和4年度新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰等対策資金（県制度資金）」の取扱いを開始し、自然災害対策としては「令和4年3月暴風農業被害対策資金（県制度資金）」「令和5年1月大雪農業被害対策資金（県制度資金）」の取扱いを開始し、影響を受けられた農業者の支援に取り組みました。



共済事業

担い手経営体や個人農業者に対し、農業経営に関わる様々なリスクへの診断を行う「農業リスク診断活動」に取り組むとともに、「JAしまね子ども倶楽部」を通じた子育て支援や次世代との繋がりづくりに努めました。

くらしの活動

コロナ禍での活動制限が少しずつ緩和されるなか、豊かなくらし・地域づくりを目的とし、「食と農に関する活動」「地域貢献活動」「支店ふれあい活動」を三本柱に地域活性化の核となる取り組みとしてすすめてきました。また、家の光・日本農業新聞等の教育資材を活用し、研修や学習活動を実施しました。



令和5年度 事業方針

指導事業

農業振興

「第3次農業戦略実践3カ年営農計画」の第2年度目として、初年度の成果と課題を踏まえ施策に修正を加えながら、「農業者の所得拡大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に繋がる目標の達成に、全力で取り組みます。

持続可能な地域農業を実現するため、中核的担い手や新規就農者、多様な農業者に対して積極的な支援活動を通じ、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を目指すとともに、「みどりの食料システム戦略」を推進します。

重点実施事項

- ① 次世代総点検運動の取り組みと地域の担い手育成
- ② 担い手経営体の経営課題に対応した農業経営支援
- ③ JAの総合力を発揮した事業承継支援の実施
- ④ 農作業等の安全・安心対策
- ⑤ インボイス制度導入に係る部門(品目) 横断的な情報発信
- ⑥ 営農指導・生産振興での生産者貢献
- ⑦ 農業振興支援事業の実施

- ⑧ 島根県産農畜産物の安全・安心への取り組み

- ⑨ 農業労働力確保対策

- ⑩ 将来にわたって持続・発展する島根農業を可能にするスマート農業の推進

くらしの活動

活動の理解促進、女性部・青年組織・支店ふれあい活動などと連携した活動の展開や教育文化活動の場づくりに努めます。豊かでくらしやすい地域づくりのためのふれあい活動として、「食と農に関する活動」「地域貢献活動」「支店ふれあい活動」を三本柱とする「JAしまねくらしの活動」に取り組み、活動を通じた組合員・地域住民の連携強化によって地域活性化を促し、持続可能な「地域・組織・事業基盤の確立」を目指します。

販売事業

農業戦略実践3カ年営農計画に掲げた「持続可能な地域農業の実現」に向け、行動計画を策定し進捗管理を行うことにより、生産現場での営農指導と販売を連携させた実践策を講じます。

購買事業

生産資材

農家組合員の営農を支え地域農業の振興に資するため、物流改革や資材店舗改革等による効率的な購買事業を進め、農家組合員の生産コスト低減と組合員サービスの充実・強化に努めます。

生活購買

組合員・地域住民の暮らしを支援し、地域の活性化に貢献するとともに、事業の効率化とサービスの充実に努め、「安心」と「満足」を感じていただける事業展開を行います。

信用事業

持続可能な島根の農業と、豊かでくらしやすい地域共生社会を実現するため、JAしまねの総合事業を活かしながら、貯金、貸出金といった生活基盤を支える事業を中心に様々な相談機能やコンサルタント機能を提供し、農業・くらし・地域に寄り添う金融仲介機能を発揮します。

共済事業

組合員・利用者に「寄り添い」、包括的な安心を「届け」、地域農業・

地域社会とより広く・深く・長く「繋がっていく」ことにより、組合員・利用者への「安心」と「満足」を提供します。併せて、新たな生活様式への対応を加速させ、組合員・利用者一人一人のニーズに応じた事業活動を実践し、事業環境の変化に適切に対応した事業展開と地域農業・地域社会への貢献に取り組みます。





功労者表彰名簿 〈令和4年6月退任の皆様〉

第9回通常総代会開催にあたり、島根県農業協同組合の役員として運営、発展等にご尽力を賜りました退任役員の皆様方を讃え、功労者表彰を行いました。

表彰者名	在任時の役職	選出地区等	表彰者名	在任時の役職	選出地区等
高木 賢一	(代表理事専務)	本店	立脇 渉	(理事)	出雲
石川 薫	(常務理事)	本店	伊藤 篤男	(理事)	出雲
有田 吉弘	(常務理事)	本店	永瀬 のり子	(理事)	出雲
佐々木 孝子	(理事)	本店(女性)	山崎 辰次	(常務理事本部長)	石見銀山
栗原 令	(常務理事本部長)	くにびき	山田 康司	(理事)	島根おおち
田中 鈴夫	(理事)	くにびき	中束 多久夫	(理事)	いわみ中央
多久和 宏	(理事)	くにびき	中島 重秋	(理事)	西いわみ
伊藤 精一	(常務理事本部長)	やすぎ	青木 和憲	(理事)	西いわみ
根来 茂樹	(理事)	やすぎ	名原 佳宏	(代表監事)	
新田 昭喜	(理事)	雲南	青砥 正幸	(常勤監事)	
石原 公夫	(理事)	雲南	田尻 宏	(常勤監事)	
澤田 秀樹	(理事)	雲南	岡 睦夫	(監事)	
新谷 徳昭	(常務理事本部長)	隠岐どうぜん	川 神守	(監事)	
岡田 達文	(常務理事本部長)	出雲	山川 博司	(員外監事)	
福島 隆	(理事)	出雲	奥原 展芳	(執行役員本部長)	くにびき

第9回総代会 Q & A

Q1 営農指導体制について、JAとしてどこまで取り組む考えなのかお聞きしたい。

A 農家へできるだけ早期に、どの地区本部の指導員でも県域重点施策を中心に農業経営への有益な技術情報を与えられるよう、スキルアップのための指導員研修を重ねていきます。また、大きな産地形成に向けた、地区本部をまたいだ効率的な指導ができるよう、スキルの高位平準化を図っていきます。

Q2 農機事業を子会社化すると、農機具の価格や全農手数料はどのようになるのか。また、他の農機具店では土日完全に休みにしているところがあるが、春と秋の繁忙期でも今後はJAも休みにするのか。

A JAと全農が一体となることで、全農手数料は効率化が図れると想定しています。また会社組成後は、JAと全農、新会社で「農機事業経営委員会」を設置し、農機事業運営については、引き続き一定の関与をすることとしており、事業の効率化や技術力の向上を含む人材育成、また価格はもとより質の高いサービス提供で組合員に満足いただける事業となるよう取り組んでまいります。繁忙期の対応は、これまで通り対応することとしています。会社化によりサービス低下とならないよう三者でしっかり検討します。

Q3 農機事業について、小規模農家にも活用しやすいリースやレンタル事業を始めてみてはどうか。コスト低減になり、新たな担い手確保にもつながるのではないかと。

A 小規模農家でも継続的に農業に携われるよう、中古農機の活用やレンタル、リース事業について、全農とともに検討を進めます。

Q4 雲南地区本部の店舗再編について、事業計画案の修正が行われたが、経過と今後の予定について伺いたい。

A 雲南地区本部の店舗再編は、地区本部での協議、理事会決定を踏まえ、事業計画に盛り込みましたが、該当地区への説明、合意形成が不十分であったと判断し、事業計画案の修正を行いました。今後は、取り組み経過も踏まえ、一層慎重な議案の取扱いに努めます。また、雲南地区本部の金融機能の再編を含む経営改革の問題は、本店と地区本部が一体となったプロジェクトを組成し、対策を協議します。地域・利用者の皆さまへの説明、話し合いにも十分留意しながら検討を進めてまいります。

Q5 JAしまねの本店は、松江市の「島根JAビル」を間借りしているという想定で質問する。統合して10年経とうとしており、厳しい経営状況が続くと思っているが、本店の移転や設立等について、現状や計画等があればお聞かせいただきたい。

A 現在入居している「島根JAビル」は竣工以来58年が経過しております。令和3年度に検討を行い、新築や移転は行わず修繕・補強を施しながら、少なくとも10年間は入居することといたしました。

この他にも幅広くご意見をいただきました。



©よい食P



想いをひとつに✿ しまねの女性部!

JAしまね女性部

令和5年度は、JA女性組織3カ年計画「JA女性 想いをひとつに かなえよう」の実践2年目です。

つなごろうみ まもろうみ かかわろうみ

の3つの具体的目標を掲げ活動します。



活動体験発表をする今岡さん



役員改選を経て、新たなメンバーで女性部を盛り上げていきます

リーダー研修会
当日の様子は
こちらから📺📺📺!



「中四国地区JA女性組織リーダー研修会」の実施
つなごろうみ (仲間と・地域と・他組織と・次代と)

7月6、7日に開催し、中四国9県から213人の女性部員や関係者が参加しました。JA女性組織活動体験発表では、各県の代表者9人から出雲女性部の今岡千恵子さんが最優秀賞に選ばれました。今岡さんは来年1月に開かれるJA全国女性大会に出場されます。

まもろうみ (食を・農業を・地域を・自分や周りの健康を)

JAしまね女性部統一行動「米一握り運動」の実施
女性部が中心となり、島根県内のフードバンク・子ども食堂等への支援を行います。

かかわろうみ (農業と・JAと・生産者・消費者と)

JAしまね支店ふれあい活動・JAしまね女性部統一行動「おもてなしプロジェクト」の実施

女性部とJA役職員が協力しながら支店の美化活動を中心に、来店したくなる支店づくりを行います。

ここで紹介した以外にもさまざまな活動を計画しています。

今年度は「Withコロナ時代における新たなJA女性組織の活動指針」に則り、感染症対策やWEB等の活用を通じて、これまでの取り組みも大切にしながら、新しい時代の女性組織活動の実践を進めていきます。



一所懸命青年連盟

JAしまね島根おおち青年連盟

地産地消に取り組み、
農業を通じて、
地域に貢献して
いきたい

JA YOUTH

つきやま まさゆき
月山 正幸さん



JAしまね島根おおち青年連盟(以下、農青連)に加入している月山正幸さん(49)は、地元邑南町で露地野菜(トウモロコシ、ケール、広島菜、高菜、キャベツ、エゴマ、もち麦)などを中心に栽培しています。17年間JAの営農指導員として勤務し、13年前に退職しました。その後、家族で「株式会社 有機ファーム 研久屋」を立ち上げました。

「農家という『経営者』になりたい」という思いから、転職を決意し、今では「農家を支える農家」と言われるほど地域に無くてはならない存在です。地元では広域的に農薬のドローン散布を請け負い、地域の農業を担っています。また、今でもJAとの繋がりが強く、夏の繁忙期になると米検査員として活躍しています。

農青連では副委員長を務め、子どもたちに「食育を教える」をモットーに青年活動へ積極的に参加しています。

月山さんは「今後は、今まで培ってきた知識を次世代へ繋ぐこと、地域の農地を守っていくことを目標に営農活動に従事していきたい」と熱く語りました。

農機事業からのお知らせ

農機事業の県域一体化構想に基づき、JAしまねと全農の共同出資により新会社が7月3日に設立されました。

新会社の名称は、「JA全農島根農機サポート株式会社」となります。この新会社での事業開始は令和5年11月を予定しています。

現在の農機センターや子会社事業所は、新会社の営業所やサービスセンターとなりますが、引き続き組合員の皆様の農機サービス拠点として営農支援に努めてまいります。

今後とも変わらぬご愛顧をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

【会社概要】

名称：JA全農島根農機サポート株式会社

本社：松江市宍道町佐々布19-1

営業所：地区本部の農機センター、農機子会社本社が営業所となります。

社員：現在の農機担当者が引き続き新会社で農機事業を担ってまいります。

【秋作業を控えて】

コンバイン等収穫用機械の点検はどうされていますか。昨年作業後の格納点検は実施されましたか。

収穫作業は天候に大きく左右されます。作業中の故障を未然に予防するために、作業前にはもう一度取扱説明書をよく読んでいただき使用前・使用後の日常点検を実施しましょう。

不明な点がありましたら、最寄りのJA農機センターへお問合せください。



理事会情報

（6月21日開催）【協議事項】

- ①雲南地区本部 店舗統廃合問題の今後の対応について

（6月30日開催）【協議事項】

- ①宍道湖西岸地区農地整備事業の営農推進に係る中国四国農政局整備事業所とJAしまねの協定締結について
- ②信用事業方法書（為替取引）の一部改正について
- ③第9事業年度業務報告書について
- ④子会社等への役職員の推薦及び派遣について

- ⑤西いわみ地区本部 益田東支店等の借地契約満了に伴う土地の取得について
- ⑥約定利息全額免除について
- ⑦理事（常勤・非常勤）と組合の取引について
- ⑧組合と理事との取引（契約）の承認について（都度承認分）
- ⑨常勤理事の他の団体理事等への就任について
- ⑩理事の個別役員報酬額の決定について
- ⑪執行役員の個別報酬額の決定について
- ⑫役員賠償責任保険への加入について

総代説明会

J Aしまね西いわみ地区本部は、6月15日益田市市民学習センター多目的ホールにおいて令和5年度総代説明会を開催しました。

当日は、西いわみ地区本部常務理事田村清己本部長をはじめ、本店から日高光弘代表理事専務、竹下克美常務理事が出席し、6月25日開催のJ Aしまね第9回通常総代会提出議案について説明を行いました。



出席総代からの質問・意見要望

齋藤 学 総代 (六日市地区)

質問 山陰中央新報に雲南地区本部の統合中止する内容という印象を受けた。西いわみではこれまでに一生懸命統合について議論してきた経緯があるが、東部では中止、西部は進めるといった違いはどういうことなのか。

竹下常務 雲南地区本部の元本部長として、今回の記事について混乱を招いて申し訳なく思っている。西いわみでは令和2年より準備してきたと聞いているが、雲南は組合員への説明が十分でないまま早急に実施したもので、「丁寧な説明を」と県から求められているなかでそれを欠いたこと、また地区本部の方針が昨年から二転三転したことなどから組合員に不信感を抱かせた。今後、将来に渡って持続可能な支店を維持するためには、地域農業の振興等の持続的なサービスができるようにするため、地区本部の事業改革をどうするか、丁寧な説明を組合員に対して総代会後に話して改革に取り組んでいく。

日高専務 各地区本部の店舗再編状況について補足説明。

齋藤 学 総代

要望 要望だが六日市カントリーエレベーターについては、気が付いたら計画処分になっているというようなどとはやめてほしいので、事前にしっかりと説明してほしい。

田村本部長

質問 六日市カントリーエレベーターは平成7年に設立され、現在は老朽化が進んでいる他、環境的にオゾン入りの機械は使用できない等といった問題があり、施設更新するには見積りで3億5千万円以上必要である。現在は約40%の利用率で毎年2,500万円の赤字が見込まれ施設更新は現実的ではない。しかしなんとかするために先日吉賀町の運営委員や地元組合員に説明をして理解してもらっている状況で、今後は市町に問題提起していく必要がある。なんとか将来に渡って利用していただける体制をつくるために策を考えている最中であり、まだ具体的な策は示せないが状況が変わり次第お繋ぎする。

齋藤 学 総代 農機拠点センターが子会社化された場合、大型機械の修理で東部のドックへ入れなければならないとき、運送料ほどの程度かかるのか。西部からは遠いので運送料が高くなるといったことはやめてほしい。東部だけ大きな施設を作るのではなく西部にも目を向けて、平等になるようにしてほしい。

鳥屋尾部長

質問 昨年10月に全農が公道に重整備センターを設立し、従来は大型化、高性能化して自工場整備ができない農機は各メーカーへ送っていたが、自工場ですることができるようになった。質問の運送料がいくらになるかはまだ確認しておらず、新会社でもまだ明確なものを出していない。

齋藤 学 総代 西部地区についての45日間隔開催が、前向きに検討されているという情報は聞いている。ご意見の通り中国地区市場との連携も検討していかねばならないが、島根県全体として中央市場の上場頭数減少が課題で、要因は東部地域の生産数減少で西部地域の畜産生産数は増えていることを承知している。やはり購買者が来なければ価格は競り上がらないため、きちんとした対応のなかで将来を見込んだ市場運営を検討している。

いと思われるのでご意見として新会社へ伝える。

寺戸 倉雄 総代 (匹見地区)

要望 お願いだが、子牛市場開催について数年前から45日間隔での市場開催が協議されているが、中央市場生産者から理解が得られていないと聞く。西部地区としては2ヶ月開催から変更されることに賛成しており、今後は島根県の市場運営だけではなく中国地域を見越してローテーションが確立されれば購買数も上がるのではないかと思うので、中央市場においても若い人の意見を聞きながら進めてほしい。

日高専務 西部地区についての45日間隔開催が、前向きに検討されているという情報は聞いている。ご意見の通り中国地区市場との連携も検討していかねばならないが、島根県全体として中央市場の上場頭数減少が課題で、要因は東部地域の生産数減少で西部地域の畜産生産数は増えていることを承知している。やはり購買者が来なければ価格は競り上がらないため、きちんとした対応のなかで将来を見込んだ市場運営を検討している。





開会にあたり岡崎支部長は「新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を受けて、この大会を3年間に渡り中止してきたが、5類へ移行されたことによる規制緩和で4年ぶりの開催となった。この間、ロシア軍のウクライナ侵攻、円安といった様々なことに起因する物価の高騰が国民生活を直撃しており、今年度の年金額はマクロ経済スライドの発動によって3年ぶりに増額改定となった。人生100年時代と言われる中、会員の皆様には健康で有意義な人生を過ごしていただきたい」と挨拶しました。

来賓の挨拶で、JAしまね西いわみ地区本部 田村清己本部長は「持続可能な経営を目指す観点から6支店4事業所体制をスタートさせた。ある意味組合員の皆様にはご不便をおかけすることになるが、5年後10年後を見据えた改編で



岡崎正照支部長 開会の挨拶

JAしまね西いわみ地区本部年金友の会 益田支部（岡崎正照支部長）は、6



開場1時間前からこの大会の再開を待ち侘びた大勢の会員の方で受付が混雑し始め、入場時間を若干早め順次会場内へのご案内しました。



ありご理解を賜りたい。新型コロナウイルス感染症も終息に向かっており、年金友の会の活動もしっかりと行っていきたい」と話しました。

来賓の挨拶に続き、滝元英二統括支店長が活動報告並びに活動計画の説明を行い、今年度の活動計画が、新型コロナウイルス感染症発生以前と同様の、様々なイベントを盛り込んだ計画であることを強調しました。

続いて安田・津田地区の大島啓作幹事が大会申し合わせを読み上げ、最後に北仙道地区の中嶋孫市幹事の発声で、参加者一同声高らかに万歳三唱を行いました。



昼食の時間を挟み第2部のアトラクションでは、お馴染み鹿島芸能による舞踊や演劇の観賞に盛り上がり、参加者は久しぶりに再会を果たした会友と共に大会を満喫していました。



益田市農政会議通常総会

益田市農政会議（又賀保会長）は6月24日、来賓に山本浩章益田市長、石倉茂美島根県農政会議会長を迎え、JAしまね西いわみ地区本部会議室において第35回通常総会を開催しました。



開会にあたり又賀会長は「資材・肥料・飼料の価格高騰が続く中、農業者は頑張っている。この危機をなんとか乗り越えて地元の農業を次世代へ繋いでいきたい」と挨拶しました。

議案審議において令和4年度の活動報告及び令和5年度の活動方針等を協議し、全会一致で可決承認しました。

第4号議案役員改選で新たに就任した岩本和雄会長は「これまで先輩方が培ってきた益田市農政会議という土壌を維持し発展させていきたい」と挨拶しました。

今回勇退することとなった又賀保前会長は、平成23年から6期12年間に渡り会長を務め、平成16年の行政合併に伴う組織統合では、副会長として新生益田市農政会議の礎を築きました。

津和野町農政会議通常総会

津和野町農政会議（永田寿秋会長）は7月7日、吉賀町六日市温泉ゆらの研修室において第18回通常総会を開催しました。

開会にあたり永田会長は「春に行われた県知事・県議選において農政会議が推薦した候補者への会員各位の応援に感謝する。また二十数年ぶりの食糧農業農村基本法の見直しによって、今後の農業政策が直接的に影響

は無くとも、我々のような地域に根差した農業経営体に日が当たるものとなるよう期待したい」と挨拶しました。

名賀地区の木村大輔さんが議長を務め、令和4年度の実績及び令和5年度計画等の議案審議を行い、役員改選においては永田会長より全員留任の提案があり、全ての議案を可決承認しました。



総会終了後の研修会は吉賀町農政会議と合同で、丸山達也島根県知事による県政報告会を行いました。

吉賀町農政会議通常総会

吉賀町農政会議（斎藤一栄会長）は7月7日、JAしまね六日市支店会議室において第18回通常総会を開催しました。



令和5年度の活動方針では島根県農政会議と歩調を合わせ、資材価格の高騰や豪雨・台風等自然災害などの対策の強化と、中山間地域をはじめとする当地域の実態を踏まえた的確な政策要望を行うこと等を掲げました。

具体的には、農業者の幅広い意見を取り入れ、より地域に根差した組織づくりを進め、新規会員獲得運動を展開することや、各種研修会へ積極的に参加し、地域農業の再構築に取り組みこととしました。

第4号議案役員改選では、新たに石井政信副会長、佐古繁行監事を選出し、斎藤一栄会長の留任で新体制がスタートしました。

総会終了後の研修会は津和野町農政会議と合同で、丸山達也島根県知事による県政報告会を行いました。





日原タラの芽生産組合 通常総会



日原タラの芽生産組合（竹内和善組合長）は6月27日、JAしまね日原支店ひまわりの会議室で第36回通常総会を開催しました。

開会にあたり竹内組合長は「今年は販売金額が総額で3,000万円を突破したものの、生育不良が原因で発芽が少なかったタラの芽は出荷量が減少し、ウルイについては通常の雪ウルイと並行して青ウルイの生産にも挑戦した。また、ふきのとうが例

年以上に出荷量が増加したことで、山菜全体のアイテムが増え有利販売につながった。来年の北九州青果における初セリには、トップセールスとして丸山達也島根県知事にも出向いていただきたいと考えている」と挨拶しました。

続いてJAしまね西いわみ地区本部の田村清己本部長は「6月25日にJAしまね通常総代会を開催し、各地区本部の総代の皆様からいただいた貴重な意見をこれからの事業運営に反映していきたい。6月10日に福岡県で丸山達也島根県知事同行による島根ぶどうのトップセールスを実施した。生産者の皆様の手取り向上のためにも、関係機関が一体となってブランド化を図る必要がある」と挨拶しました。



議事進行は竹内組合長が議長を務め、令和4年度の事業収支報告及び令和5年度事業収支計画等全ての議案を承認決定しました。令和4年度は、出荷量減（対前年84・4%）の単価高（対前年118・4%）によって昨年と同額の販売実績となりました。

西いわみ和牛改良組合 総会

西いわみ和牛改良組合（寺戸倉雄組合長）は7月14日、JAしまね西いわみ地区本部会議室において、令和5年度通常総会を開催しました。

開会にあたり寺戸組合長は生産資材価格の高騰について触れ、「飼料等資材価格の高騰は農家にとって経営を左右する厳しい問題と言える。子牛価格についても全国的に下降傾向にあるが、昨年の全国和牛能力共進会鹿児島大会における『しまね和牛』に対する評価と、代表牛の優秀な成績は生産者全員の励みとなった。引き続き生産者全員の強化拡充を図り、品質の向上に努めていくことが重要だ」と挨拶しました。



慣例により寺戸組合長が議長を務め、全ての議案審議を行い全会一致で可決承認しました。

西部開パイ 農産物即売会の開催



益田市西部農地開発地区営農組合は、6月18日益田市立開発地営農研修センターにおいて農産物の直売会を開催し、同組合の組合員が生産したぶどう、アムスメロン、トマトなどの販売を行いました。

午前9時の販売開始と同時に地元益田市をはじめ近隣市町の来場者で賑わい、先着200人にデラウエア工房がプレゼントされました。

益田市特産のメロン、トマト、ぶどうの売れ行きは好調で、開始30分後には品薄となり急遽追加を調達し来場者の期待に応えていました。





JAしまね西いわみ女性部 美都支部ミニデイサービス

JAしまね西いわみ女性部美都支部（佐々木孝子支部長）は6月29日、美都町東仙道公民館でミニデイサービスを開きました。

地元の皆さん21人と野村達也公民館長や公民館スタッフも参加し、レクリエーションや食事をして半日を楽しみました。



ポッチャ



JAしまね西いわみ女性部 津和野支部集会



JAしまね西いわみ女性部津和野支部（中川美恵子支部長）は6月30日に、津和野温泉なごみの里で支部集会を開催し、令和4年度活動及び収支決算報告、令和5年度計画の説明がされ、全員一致で承認しました。

集会終了後には女性部員の松田アゴステイニ葉月さんマリアノさんご夫婦による歌と踊りが披露され、出席者から大きな拍手がおくられました。また部員の竹内さんから「アルモンデ食堂（地域食堂）」の取り組みが報告され、女性部としても何か協力ができることはないか話し合いました。

参加された部員からは、「今年度はコロナ禍以前のように活発な活動ができればいいね」という意見が出されるなど、盛り上がりのある楽しいひと時を共有しました。

農青連通常総会

JAしまね西いわみ青年連盟（齋藤優作委員長）は6月22日、JAしまね西いわみ地区本部で令和4年度通常総会を開催しました。

齋藤委員長は盟友数が年々減少傾向にあることを懸念し「積極的な盟友獲得運動の展開をお願いしたい」と挨拶しました。

総会に続き、西いわみ青年大会を開催し、益田支部の尾木涼太さんが「世代を超えた宝船の出航」と題し、昨春秋に行われた益田市産業祭での出展にあたり、盟友と協力して出品物の集荷にあたった体験を組織発表として講演しました。

尾木さんは6月28日にJAしまね出雲地区本部で開催された、島根県JA青年大会で西いわみ代表として発表しました。





住宅ローン商品説明会

JAしまね西いわみ地区本部は7月7日、地区本部大会議室においてハウスメーカー29業者を対象に、令和5年度住宅ローン説明会を開催しました。

開会の挨拶で椋木鉄也統括部長は、西いわみ地区本部における金融情勢報告の中で、令和4年度融資残高が対前年比5.2%増となったことなどに触れ「JA取扱商品に対する理解と協力をお願いする」と挨拶しました。

初めに同地区本部統括支店ローンセンターの石川貴浩マネージャーが、JA住宅ローンのポイントや商品の概要について説明を行い、続いて税理士法人錦織会計事務所の吉田道夫税理士を特別講師に招き、「2023年住宅営業マンのための住宅減税制度のポイント」と題して特別セミナーを行いました。

この日参加していただいた43人の皆様からは、商品に対する質問に併せ説明会の継続を望む声もあり、この企画に対する高評価を得ることが出

来しました。

最後に滝

元英二統括支店長が、

説明会への参加と日頃のご協力に對し謝意を述べ閉会しました。



津和野メロン出荷始まる



津和野メロンの出荷が7月17日からJAしまね津和野経済センターで始まりました。

当日は津和野メロン生産部会の三宅隆部会長が、出荷したアムスメロン150kgが贈答注文先へ発送され、生産者をはじめJA職員が見送りました。

今年度は販売目標を470万円としており、県内市場などに出荷する予定です。

今年産のアムスメロンは天候が不安定な中にも生育は順調で、病害虫被害が一部でみられたものの、気温の上昇とともに糖度も上がり例年通りのアムスメロンに仕上がりました。

三宅部会長は「一人でも多くのおみなさんに、おいしい津和野メロンを届けたい」と話されました。

アムスメロンのピークが過ぎる7月下旬には、アールスメロンの出荷が始まります。



J Aカップ第40回島根県学童軟式野球選手権大会

J Aカップ第40回島根県学童軟式野球選手権大会（県軟式野球連盟・山陰中央新報社主催、JAしまね・JA共済連島根特別協賛）の益田・鹿足地区予選が、7月22日、23日の両日益田市乙吉町の益田市民球場で開催され、7チームが参加し熱戦を繰り広げました。

23日に行われた決勝リーグでは吉賀町の七日市スポーツ少年団が熱戦を制し、4年ぶり8度目の優勝を手にしました。

優勝した七日市スポーツ少年団は、8月19日、20日に松江市営野球場（松江市上乃木）で開催される県大会へ地区代表として出場します。



七日市
スポーツ
少年団
優勝



益田東高校 第12回神楽甲子園出場



J A共済連とJAしまね西いわみ地区本部は7月21日、J A共済連の地域文化支援活動として神楽甲子園へ出場する益田東高校神楽部（桑原慧志部長）へ助成金を贈呈しました。

神楽甲子園は地域の伝統芸能を継承する高校生への技術の向上と地域間交流を目的に開催され、7月22日・23日に広島県安芸高田市の神楽門前湯治村神楽ドームで、全国20校の高校生が参加し技を競い合いました。

今回が3回目の出場となる同神楽部は大会2日目に登場、持ち時間をフルに使って演目の「十羅」を熱演しました。

日本大学芸術学部演劇学科小林直弥教授（日藝選奨選考委員）からは、「奏楽と演舞の一体感が際立って高レベルの舞に仕上がっていて感動した」と高い評価を受けました。



西いわみの食育活動

アムスメロンを給食に提供

50年目を迎える益田メロン部会（大場尚俊部会長）は、収穫が始まったアムスメロンを益田市立高津小学校へ届けました。



「自分たち部会の皆が丹精込めて作ったアムスメロンです。味には自信があるので食べてみてください。帰ってお家の人にもどんな味だったか教えてあげてくださいね」
…大場部会長



給食に提供したアムスメロンを囲む児童

益田市内の小中学校で出前授業を行っています。

この日は高津小学校の3年生に、飯田町のJA多品目選果施設（飯田選果場）で行われている様々な作業について話しました。



営農経済部中村幸大次長

バケツ稲の苗植え（益田市立吉田南小学校5年生）

米需要拡大運動事業を活用して、益田市立吉田南小学校5年生がバケツ稲づくりにチャレンジしています。



JAしまね西いわみ地区本部営農経済部米穀課の石橋正太職員が、苗を植えて収穫までに要する作業や日数について説明を行いました。



土の入ったバケツに水を入れて混ぜ合わせる作業（代掻き）を行いました



元気にすくすくと育った苗をバケツの中に丁寧に植えていきました。

管内の保育施設へ、アムスメロン・トマト・ぶどう・お茶を給食提供

JA共済地域・農業活性化施策を活用して、西いわみ管内のメロン・トマト・ぶどう・お茶を給食へ提供しています。

幼い頃のふるさとの味として記憶に残るよう、それぞれの収穫時期に合わせて管内の保育施設へ届けています。



管内の保育園へアムスメロン、トマトを届けました



日原保育園へ河田園（河田典明代表）のお茶を届けました



農耕用大型特殊免許 取得準備講習会



J Aしまね西いわみ地区本部は、6月29日・30日の2日間、J Aしまね西部家畜市場で、農耕用大型特殊免許取得準備講習会を開催しました。

「道路運送車両の保安基準」に基づく基準の緩和によって、農作業機装着のまま公道走行が可能となったものの、長さ4・7メートル、幅1・7メートル、高さが2メートルを超え、走行速度が時速15キロ以上のスピードが出る農業機械で公道を走行する際は大型特殊免許が必要です。

初めに会議室で座学を行い、J Aの職員が実際の試験コースを基に設置した仮設コースで、厳守すべき注意点等入念な講習を行っています。

「これまで管内の農業法人をはじめ多くの農業者の皆さんが、この講習会を経て運転免許を取得された。担い手確保の観点からも、一定程度の受講希望がある限りこの取組みは続ける」と担当する村上孝次営農企画課長は語ります。今回は13人の方が受講され、7月4日に島根県西部運転免許センターで行われた試験に全員合格し、農耕用大型特殊免許を取得されました。



益田グリーンセンター展示会

J Aしまね西いわみ地区本部益田グリーンセンターは、7月14日、15日の2日間展示会即売会を行いました。

この日は、西いわみ統括支店金融課が相続や贈与に関する相談コーナーも開設し、来店者の対応に当たりました。事前事後の心配事などが相談できるブースは、「展示会来場のないで立ち寄って気軽に話を聞くことができました」と好評でした。

また、農機具のコーナーにおいては管理機や草刈り機といった小型機械を中心に展示し、職員が親切丁寧な説明で来場者の質問に答えました。

2日間の展示会来場者は300人で、480万円のご購入をいただきました。



秋の感謝セール

大売り出し **大売り出し**

益田グリーンセンター 売り出しを行います!!

野菜用肥料・農薬・除草剤
人気のキャベツ・白菜等プラグ苗
大売り出し!!

その他様々な商品を取り揃えてお待ちしております

日時 **9月15日** 金 9:00~17:00

16日 土 9:00~16:00



西いわみ地区本部からのおしらせ

メガネ・補聴器の専門店



PARIS MIKI

国家検定資格

1級 眼鏡作製技能士

認定補聴器技能者

移動型店舗 店長 狩野 昭弘



有名メーカーと共同企画した
パリミキオリジナルの
選べるレンズ



最新トレンドを取り入れた
多彩なデザイン
高品質フレーム

パリミキなら
超薄型・
遠近両用
レンズも
選べます!!

フレームもレンズもフィッティングも全て込み込み。

¥13,200~ (税込)

『移動型店舗
パリミキカー』



お問合せ、訪問のご相談は 直通 ☎ **090-6955-1612** ~ お気軽にどうぞ

令和5年 9月度 JA巡回スケジュール 西いわみ地区

6日(水)	9時半~13時	匹見事業所	25日(月)	10時~15時	Aコープラボ店(益田東支店) P
11日(月)	9時~12時	西益田支店	26日(火)	9時~14時	美都温泉『湯元館』前 P
	13時~16時	益田中央支店	27日(水)	9時半~13時	匹見事業所
12日(火)	9時~13時	日原経済C	28日(木)	9時半~13時	津和野経済C
14日(木)	10時~13時	六日市経済C			

お題 「花火」



10月のお題は「秋祭り」です
ご応募お待ちしております

- 空高く 見上げて笑顔 夜花火 (益田市 大谷 恭子さん)
- うちわ持ち 家族揃って 庭花火 (益田市 和崎富久代さん)
- 花火が 好きだった孫も 5年生 (益田市 佐々木多恵子さん)
- なつかしい 線香花火に 母思う (益田市 野村 芳子さん)
- 燃え上る 花火に似たり 人の世も (益田市 村上登美子さん)
- ジジババと 線香花火 ひ孫笑む (益田市 中島 茂代さん)
- 宵闇を 待たず線香 花火かな (益田市 柳井 文江さん)
- このごろは 花火はテレビの 中継で (益田市 竹田 和夫さん)
- 孫達と 線香花火で 競い合う (津和野町 勝間 竹代さん)
- 世の中を パット明るい 花火のように (津和野町 日熊 春子さん)
- なつかしの せんこう花火 母の顔 (津和野町 潮 恵子さん)
- 幼な児の 線香花火に 癒やされる (津和野町 斎藤 久衛さん)
- 打ち上げた 花火でけむる 天の川 (津和野町 中野 健二さん)
- はかなくも 光り輝く 線香花火 (津和野町 桑原八恵子さん)
- 天翔ける 花火の音や 力得る (津和野町 大庭百合子さん)
- 月あかり 花火うちあげ 銀のすず (津和野町 豊田 往野さん)
- 夏の夜 線香花火 じじとばば (吉賀町 中村恵己子さん)

川柳「花火」の投稿数 津和野町14通、吉賀町2通、益田市14通

川柳 応募方法 ●葉書に 川柳、住所、氏名、電話番号をご記入ください。●締切 令和5年9月15日(当日消印有効)
●あて先 〒698-0024 益田市駅前町15-1 JAしまね 西いわみ地区本部 企画総務部 ふれあい課

9月の無料年金相談会~お気軽にご相談を~

年金定期便、年金手帳、印鑑、裁定請求書、年金証書等をお持ちいただくと、より具体的な相談ができます。はじめての方や、現在受けている年金に疑問をお持ちの方もお気軽にご相談でき、秘密は固く守られます。ぜひ会場にお越しください。

9月の年金相談会

9月21日(木)益田中央支店

15:00~19:00 JA年金相談員 ※日程・社会保険労務士は変更になる場合があります。

西いわみ地区本部 西いわみ統括支店 金融課
年金相談センター (0856-22-8680) は、
平日(8:45~17:00)いつでもご相談いただけます。

令和5年産米出荷袋の書き方について

袋口印刷

年産を記入してください。

島根県産銘柄品種欄

- ★該当の品種名を記入してください。
(うるち) コシヒカリ・きぬむすめ・ハナエチゼン・つきあかり・ヒノカリ・つや姫
(も ち) ヒメノモチ・ココノエモチ・ヤシロモチ・ミコトモチ
(酒 米) 五百万石・改良雄町・佐香錦・神の舞
- ★上記以外の品種の場合は記入しない。

検査請求者記載欄

- ★検査請求者欄は、生産者の氏名を記入する。
- ★検査請求者の住所欄は、生産者の住所を記入する。
- ★生産地欄は、生産された場所を記入する。

(袋の結び方)

- ★裏口をそろえ裏側に3回折り曲げる。(青線が真上にくる)
- ★両端10cmの所(折り曲げ線)で中央に折り曲げ、真結びする。

検査証明書		
年産	種類	水稻うるち玄米
銘柄 島根県産		
正味重量規格 30kg		

※風袋込重量は30.5kgです

検査請求者
住 所 島根県〇〇市〇〇町
代 理 人 島根県農業協同組合
住 所 島根県松江市殿町
生 産 地 島根県〇〇市〇〇町
品 種 名 ()

荷造り、包装及び左記の事項を証明する。

★混合米又はわからない場合は、**その他**とする。
★規定の品種名を正しく記入してください。
ひらがな→ひらがな
カタカナ→カタカナ
漢 字→漢 字
のように左記の品種欄通りに記入し、**略称やあて字等は使用しない**で下さい。

生産履歴台帳の記帳及び提出について (お願い)

生産基準に基づく安全な農産物づくりと記帳を通じて、「安全・品質」に関する情報を消費者に伝えること、これが生産履歴台帳の意義です。

JAは消費者に「安全・安心」なお米を提供し、有利販売のために、生産履歴台帳の記帳運動を展開し、JAが取り扱う米を「JALしまね米」と「一般米」に区分して生産・販売に取り組んでいます。

生産履歴台帳の記帳は、手間のかかる作業ですが、ご理解いただきご協力をお願いします。

- (記入上の注意点)
- 各品種ごとに生産履歴をご記入ください。ただし、使用資材(肥料、農薬)が異なる場合は、圃場ごとに記入をお願いします。
 - 記帳については、記入例を参考にしてください。
 - 生産履歴台帳の用紙が不足の場合は、お手数ですが、最寄りのJAへお越しください。
 - 生産履歴台帳の提出は、収穫後に紙袋で出荷の方は出荷申込み時に、カントリー及びライスセンターご利用の方は搬入前に必ず提出してください。**

「JALしまね米」の定義

「JALしまね米」とはJAと売渡委託契約(出荷契約)を締結した生産者が生産し、JAに出荷した米穀であり、下記の要件を満たす米穀であります。

- 1) 銘柄が確認できた種子により栽培された米穀(種子更新)
- 2) 登録検査機関で検査された米穀
- 3) 生産基準に基づき栽培され、生産履歴記帳された米穀

なお、「JALしまね米」と「一般米」では価格差があります。

*** 生産履歴台帳は、出荷までにご提出ください。**

問い合わせ先 JALしまね西いわみ地区本部 営農経済部米穀課 及び 各支店

記載例		生産履歴記入用紙提出期限: 出荷申込用紙とともに提出してください	
JA栽培管理記録	生産履歴	令和5年度	JA名 島根県農業協同組合(西いわみ地区本部)
生産者名	住所	品種名	【栽培履歴】
作業日誌	【住所】	【品種名】	【実効日】
作業日 番号	作業日 番号	肥料名	【肥料】
01	01	【肥料】	【農薬】
02	02	【肥料】	【農薬】
03	03	【肥料】	【農薬】
04	04	【肥料】	【農薬】
05	05	【肥料】	【農薬】
06	06	【肥料】	【農薬】
07	07	【肥料】	【農薬】
08	08	【肥料】	【農薬】
09	09	【肥料】	【農薬】
10	10	【肥料】	【農薬】
11	11	【肥料】	【農薬】
12	12	【肥料】	【農薬】
13	13	【肥料】	【農薬】
14	14	【肥料】	【農薬】
15	15	【肥料】	【農薬】
16	16	【肥料】	【農薬】
17	17	【肥料】	【農薬】
18	18	【肥料】	【農薬】
19	19	【肥料】	【農薬】
20	20	【肥料】	【農薬】

名前・住所を記入し、品種名を記入してください。

該当する番号に○をして下さい。

※重要
JA以外で種子・苗の購入の場合、購入先からの伝票(請求書等)の写しが必要となります。(品種証明の為)

実効日、10アール当たりの施肥量・使用量を記入して下さい。印字してある農薬を使用の場合は、農薬名の前の欄に✓印を記入して下さい。印字外の肥料・農薬がありましたら、印字下の空欄に名称を記入し、実効日、施肥量・使用量を記入してください。

生産者名

署名をお願いします。

令和5年産米 検査計画

2023年		8月										9月																				
倉庫 (検査場所)	支店・地区	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
		木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
中央 (双葉)	益田東支店	○			○							○							○							○						
	真砂地区	○			○							○								○						○						
	津田地区	○			○							○								○						○						
	種地区	○			○							○								○						○						
	北仙地区	○			○							○								○						○						
	鎌手地区	○			○							○								○						○						
	中西支店	○			○				○						○							○							○			
	美濃地区	○			○				○						○							○							○			
	二条地区	○			○				○						○							○							○			
	小野地区	○			○				○						○							○							○			
	豊田地区	○			○						○					○							○							○		
高城地区	○			○						○					○							○							○			
中吉田	駅前地区						○						○								○							○				
	吉田地区						○						○								○							○				
	高津支店						○						○								○							○				
	益田支店						○						○								○							○				
	豊川地区						○						○								○							○				
美都RC	美都地区		○							○								○						○							○	
匹見	匹見地区							○						○							○							○				
山下	津和野地区		○			○			○				○							○			○					○			○	
鷺原	津和野地区					○		○		○			○							○			○					○			○	
日原	日原地区						○						○								○								○			
七日市	吉賀地区									○			○							○			○					○			○	

2023年		9月								10月																					
倉庫 (検査場所)	支店・地区	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
		土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
中央 (双葉)	益田東支店	○							○							○				○									○		
	真砂地区	○							○							○				○									○		
	津田地区	○							○							○				○									○		
	種地区	○							○							○				○									○		
	北仙地区	○							○							○				○									○		
	鎌手地区	○							○							○				○									○		
	中西支店					○							○								○								○		
	美濃地区					○							○								○								○		
	二条地区					○							○								○								○		
	小野地区					○							○								○								○		
	豊田地区								○						○						○								○		
高城地区								○						○						○								○			
中吉田	駅前地区			○								○																			
	吉田地区			○								○																			
	高津支店			○								○																			
	益田支店			○								○																			
	豊川地区			○								○																			
美都RC	美都地区							○												○											
匹見	匹見地区						○						○							○							○				
山下	津和野地区			○		○					○			○						○								○			
鷺原	津和野地区			○		○					○			○						○								○			
日原	日原地区					○							○								○								○		
七日市	吉賀地区			○		○							○							○								○			

- 検査買入に係る費用単価については、1袋30kgあたり 検査手数料35円(税別) 受検費用100円(税別) 集荷運賃110円(税別) 米需抛出金12円(非課税)となります。
- 米袋の銘柄・品種名欄には、「つきあかり」「コシヒカリ」「きぬむすめ」「つや姫」「神の舞」「佐香錦」「ヒメノモチ」「ミコトモチ」等 ひらがな・カタカナ・漢字に注意して産地品種銘柄で記入して下さい。
- 紙袋出荷について、皆掛重量が「30.5kg」になりますので、袋詰めの際にはご注意願います。

畜産

7月の子牛市場

7月18日(火)に雌52頭、雄1頭、去勢87頭、計140頭の市場により、西部家畜市場が開設されました。平均価格が雌426千円(前回比88%)、去勢551千円(前回比96%)、計502千円(前回比93%)と、暑熱等の損耗で発育にバラつきがあったこと、全国的に相場が下落傾向にあることから、平均価格で前回比35千円と大きく下落しました。また枝肉相場も下落傾向にあるため今後の相場の動向に注目が集まっています。

次回の市場開設日は9月19日(火)、セリ開始時間は9時30分からとなっております。出荷を予定されている方は対象牛に暑熱対策等おこない、愛情を持って管理をしていただくようお願い致します。



7月西部子牛市場成績 (税込)

(単位：円・kg)

市町村	性別	頭数	最高	最低	平均	平均種
益田市 (益田)	雌	32	660,000	235,400	437,009	291
	去勢	48	788,700	283,800	566,884	328
	計	80			511,471	312
益田市 (美都)	去勢	1	536,800		536,800	313
	計	1			536,800	313
益田市 (匹見)	去勢	3	581,900	509,300	543,400	327
	計	3			543,400	327
津和野町 (津和野)	雌	1	321,200		321,200	333
	去勢	5	596,200	459,800	516,780	292
	計	6			484,183	299
津和野町 (日原)	雌	6	771,100	437,800	517,440	315
	雄	1	321,200		321,200	319
	去勢	6	669,900	334,400	505,560	306
	計	13			494,200	311
吉賀町 (柿木)	雌	1	387,200		387,200	268
	計	1			387,200	268
吉賀町 (六日市)	雌	1	434,500		434,500	290
	去勢	3	463,100	449,900	456,500	346
	計	4			449,167	327
西部市場 総合計	雌	52	771,100	156,200	426,492	294
	雄	1	321,200		321,200	319
	去勢	87	788,700	212,300	551,348	324
	計	140			501,936	312

益田産のトマトを使ったトマトジュレ・トマトカレーのご案内

西いわみ管内の特産品を使った、おいしいオリジナルブランドの加工品をご紹介します。
管内の直売所やスーパーなどでもお買い求めいただけます。



トマトジュレ (トマト丸ごと1個使用)
販売価格: **4,000円** (送料、消費税込み)
内容量: (195グラム) 6個入り



トマトカレー (トマトをたっぷり使ったカレー)
販売価格: **3,200円** (送料、消費税込み)
内容量: (200グラム) 5個入り

お申し込み・お問い合わせ

西いわみ地区本部 営農経済部 (土・日・祝日はお休み) 〒698-0042 益田市中吉田町1000番地
TEL 0856-23-1911 FAX 0856-24-0453



JＡしまね西いわみ地区本部年金友の会 寿ロード

西条蔵元めぐりと 2019年就航の「シーパセオ」で行く 新型フェリー 道後温泉 2日間



西条酒蔵通り イメージ

石手寺 イメージ



瀬戸内海汽船クルーズフェリー「シーパセオ」イメージ

宿泊ホテル

道後温泉 ホテル椿館

(イメージ)

旅行実施日 令和5年

11月1日(水)~2日(木)

旅行代金 大人お一人様・西いわみ地区本部管内・
ホテル4~5名1室利用・税込

43,000円

※3名1室利用の場合お一人様3,000円増
2名1室利用の場合お一人様5,000円増

ご旅行出発前に最終行程表とご旅行代金請求書を送付致します。最寄りのJA支店・事業所よりお振込みをお願いいたします。尚、恐れ入りますが、振込手数料はおお客様負担でおねがいいたします。

募集人員 120名様(最少催行人員70名様)

申込締切日 令和5年 9月29日(金)
但し定員になり次第締め切らせて頂きます。

申込金 12,000円(旅行代金に充当)

食事条件 朝1回・昼2回・夕1回

添乗員 同行して旅程管理業務をおこないます。

利用バス会社 第一観光バス

■旅程	◎入場観光、○下車観光(施設には入りません)	食事
西いわみ地区本部管内(5:30~6:30) ≡ <浜田・中国・山陽道> ≡		
≡ ◎西条酒蔵通り 蔵元めぐり ≡ 呉市内(昼食) ≡ 呉港 ~ 松山観光港 ≡ 道後温泉(泊)		朝: × 昼: ○ 夕: ○
瀬戸内海汽船クルーズフェリー 道後温泉 ホテル椿館		
※早めのチェックイン 道後温泉本館や道後商店街(道後ハイカラ通り) 散策等お楽しみください。		
1日目		
2日目	四国霊場第51番札所 四国銘菓のお買い物 ホテル(8:30) ≡ ◎石手寺 ≡ ○ハタダお菓子館 ≡ ◎今治タオル美術館(見学・昼食) ≡ <しまなみ海道・山陽・尾道・中国・浜田道> ≡ 西いわみ地区本部管内(19:00~20:00)	朝: ○ 昼: ○ 夕: ×

★交通機関の都合により行程スケジュールが変更になる場合があります。
★ご集合場所・出発時間は出発の1週間前にお届けする最終日程表にてご案内いたします。

旅行条件(要約) ※詳しい旅行条件を説明した書面をお渡し致しますので事前にご確認の上、お申し込み下さい。

本旅行は次の条件に基づきます。
この旅行は(株)農協観光(観光庁長官登録旅行業第939号、以下「当社」といいます。)が企画・募集する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。

その他の旅行条件は、下記によるほか、別途お選する取引条件説明書、契約書、確定書面(最終旅行日程表)、及び当社旅行契約募集型企画旅行契約の部によりります。

- 旅行代金に含まれるものは次のとおりです。
旅行日程に明示した航空・船舶・鉄道等利用交通機関の運賃、旅行日程に含まれる送迎バス等の料金、旅行日程に明示した観光の料金(バス料金・ガイド料金・入場料)、宿泊の料金・税・サービス料、食事の料金・税・サービス料。
- 手荷物運賃・団体行動中のいけ、添乗員付コースの添乗員の同行費用、なお、これらの諸費用はお客様の都合により一部利用されなくても原則として払戻はいたしません。
- ご旅行の申込みと契約の成立時期及び旅行代金の支払について
参加お申込みの際、当社所定の旅行申込書にご記入のうえ、右記の申込金をお支払い下さい。お申込金は旅行代金お支払い込みの控除させていただきます。

お電話等でお申込みの場合は、お申込み翌日から起算して3日以内に申込書と申込金を提出していただきます。旅行契約は当社が予約を承諾をし、申込書と申込金を受領したときに成立するものとします。旅行代金は、旅行開始の前日から起算してさかのぼって11日目に当たる日までにお支払い下さい。(取消料)

取消日	取消料
旅行出発日の前日より起算して21日前まで	無 料
旅行出発日の前日より起算して20日~8日前まで	旅行代金の 20%
旅行出発日の前日より起算して7日~2日前まで	旅行代金の 30%
旅行出発日の前日	旅行代金の 40%
旅行開始当日	旅行代金の 50%
旅行開始後及び無連絡不参加	旅行代金の100%

●旅行条件の基準 この旅行条件は令和5年5月1日現在の運賃料金を基準としています。

国内旅行保険加入のすすめ

この旅行は「うきうき」(国内旅行傷害保険)に加入しています。詳しくは弊社社員までご照会下さい。

個人情報取扱について

当社の個人情報の取扱の詳細については、当社ホームページ(<http://www.ntour.co.jp>)をご参照ください。

旅行企画・実施・お申込み・お問い合わせ先

(一社)日本旅行業協会 正会員
観光庁長官登録旅行業第939号

ボンド保証会員 旅行業公正取引協議会会員

NTour (株) 農協観光 山陰支店
TEL0852-26-2600 松江市瀬町1-7 松江プラザビル8F
営業時間 平日9:00~17:00(土・日・祝日を除く)
総合旅行業務取扱管理者 中尾 吉徳・前田 隆宏

JA事業に関するお問い合わせ先

西いわみ地区本部	TEL0856-22-1589	中西事業所	TEL0856-28-0502
益田中央支店	TEL0856-24-1870	津和野支店	TEL0856-72-0711
益田東支店	TEL0856-27-0003	日原支店	TEL0856-74-0226
美都事業所	TEL0856-52-2411	六日市支店	TEL0856-77-0014
西益田支店	TEL0856-25-2504	柿木事業所	TEL0856-79-2316
匹見事業所	TEL0856-56-0160		

※お客様の状況によっては、当初の手配内容に含まれていない特別な配慮、措置が必要となる可能性があります。詳細は別途お渡する「旅行取引条件説明書」の3.お申込み条件「特別の配慮」を確認ください。総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う支店での取扱いに関する責任者です。このご旅行に関してご不明な点がございましたらご連絡ください。上記の取扱管理者におたずね下さい。



西いわみ地区本部からのおしらせ

GOLF COMPETITION

第11回 JALしまね 西いわみ地区本部 組合員

親睦ゴルフコンペ開催

10月28日

萩・石見カントリー倶楽部

申込締切

9月22日

日 時

令和5年10月28日(土) 午前7時00分受付開始
午前8時00分からOUT・IN同時スタート
40組(約150人)予定

場 所

萩・石見カントリー倶楽部
山口県萩市大字下田万897番地 TEL 08387-3-1100

参 加 料

1人2,000円(当日徴収)

参 加 方 法

最寄りの各部・支店に下記申込書を提出下さい。
原則4人1組でお申し込みをお願いします。

お問い合わせ先

企画総務部・ふれあい課

TEL 0856-22-1585 FAX 0856-23-0788 E-mail:fureai.niw@ja-shimane.gr.jp

申 込 締 切 日

9月22日(金) 定員になり次第締め切り。

ル ー ル 及 び 賞

- ①ダブルペリア方式
- ②優勝、準優勝、飛び賞、ブービー賞、ドラコン・ニアピン賞他多数用意
- ③参加者全員に参加賞贈呈
- ④プレー代・食事代は各自でご精算ください。

結 果 報 告

表彰式無し。後日参加者全員に結果表、該当者に各賞をお送りします。

キ ャ ッ プ

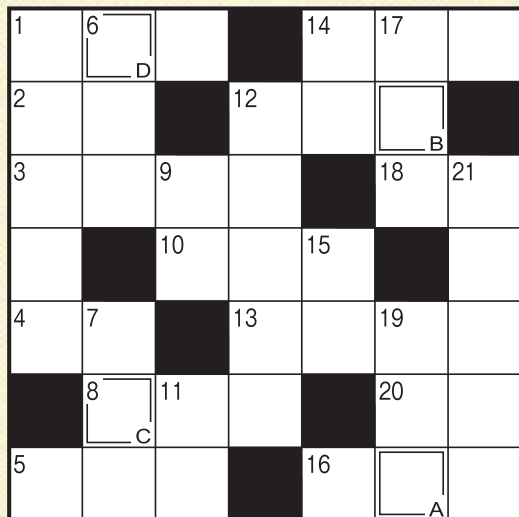
第11回 JALしまね 西いわみ 組合員 親睦ゴルフコンペ 参加申込書

	氏名(フリガナ)	住 所	TEL・FAX
1			(TEL) (FAX)
2			
3			
4			



二重マスの文字をA～Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

出題 ● ニコロ



答え

A B C D

タテのカギ

- ①ボンベを担いで——ダイビングを楽しんだ
- ⑥アンダー——の左腕投手
- ⑦収穫期の田んぼで金色に輝きます
- ⑨陶磁器はこの中で焼き上げられます
- ⑪——に敬老の日のプレゼントをもらった
- ⑫「ギィー、チョン」と鳴く虫
- ⑭陽（よう）の反対語
- ⑮汁物をよそう食器の1つ
- ⑰十五夜に楽しむもの
- ⑲ピラフにホワイトソースをかけて焼いたもの
- ⑳父と母のこと

ヨコのカギ

- ①十五夜に飾る植物
- ②帰り道のこと
- ③葉はコアラの餌になります
- ④2の3——は6
- ⑤必要以上に子どもを甘やかすこと
- ⑧糞（あつもの）に懲りて——を吹く
- ⑩発車——の新幹線に何とか乗り込んだ
- ⑫奈良や和歌山がある地域
- ⑬漢字で書くと竜胆。青紫色の花を咲かせます
- ⑭台風——、よく晴れたね
- ⑯吉永小百合さんの場合はサユリスト
- ⑰ml、mgの「m」
- ⑳お金を借りると付くことも

応募要項

● 応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。

● 賞品

正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

● 当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

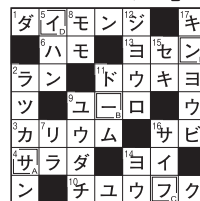
● 宛先・締切

〒698-0024 益田市駅前町15-1
JAしまね 西いわみ地区本部 ふれあい課 「クイズ」係
2023年9月1日（金）（当日消印有効）

・先月号は、西いわみ地区本部管内で64人の方からご応募いただきました。

◆ 先月号の答え ◆

「サーフィン」



川柳の広場

最優秀賞

人生の添え木となつてくれる趣味

出雲市 北村 功様

（評）人生の趣味には色々あるのだけど、その中心となるものは、それが自分にとって大切なものであるかである。添え木となつてくれる趣味は大切にしたい。

優秀賞

ありがとう感謝で生きる老い二人

隠岐の島 上川 晃一様

晴れの日には母の自慢の茶碗蒸し

出雲市 榎井 伸幸様

夏陽射す老いも顔手に日焼け止め

浜田市 沖田 邦子様

佳作

捨てる事覚えて肩が軽くなる
奥出雲町 堀江 英子様
老いてから妻との時間愛おしい
江津市 山形ゆうき様
店頭のソーメン夏を連れて来た
出雲市 多久和敬子様
おらが春寅年七回恙無く
邑南町 渡辺 里枝様
駆け足で望まぬ老いがやって来る
江津市 湯浅志津子様

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！

「家の光」9月号定価 922円
ご購入は、お近くのJAへお問合せください。



JAしまねびよりは、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）9月号は俳句を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

応募方法
俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、メールのいずれかでご応募ください。
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
※応募作品の一切の権利は、JAしまねに帰属するものとします。
※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

あて先
〒690-0887 松江市殿町19-1
JAしまね ふれあい福祉課
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
FAX：0852-67-7708
Eメール：fureai.hon@ja-shimane.gr.jp



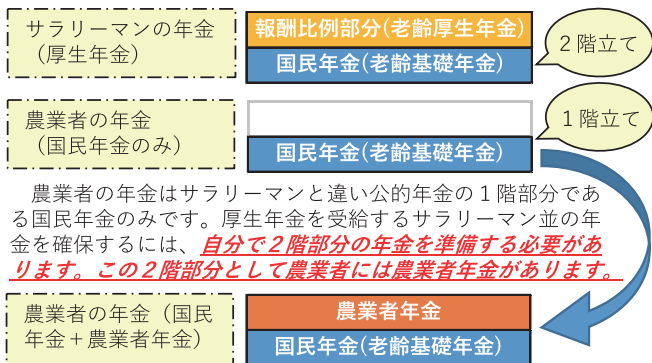
最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。

知らないで損！ 農業者年金の税金対策と保険料補助



まず農業者年金ってなに？



農業者の年金はサラリーマンと違い公的年金の1階部分である国民年金のみです。厚生年金を受給するサラリーマン並の年金を確保するには、**自分で2階部分の年金を準備する必要があります。**この2階部分として農業者には**農業者年金**があります。

でも…加入する条件があるんでしょ？

農業者年金 へは…



※ただし、60歳以上は、国民年金の任意加入被保険者

の方なら**どなたでも**加入できます。

農業者年金は支払った保険料の全額が社会保険料控除の対象です。



今年は豊作で収入が良かったな…
ただ税金が多くなるのでは…
なにか節税対策はないかな？

前納すれば翌年1年間の保険料も**全額社会保険料控除**に使える！

生計を一つにする配偶者や後継者の保険料を支払った場合は、その合計額(最高保険料6万7千円の場合は3人分で241万2千円)が経営主の所得から控除できます。

農業者の担い手には、保険料の国庫補助があります。

保険料の国庫補助 を受けるには…

国民年金第1号被保険者等の農業者年金への加入要件に加え、

- **39歳までに加入**
- **農業所得が900万円以下**
- **下記の農業者の担い手要件** を満たせば受けられます。

- ① 認定農業者で青色申告をしている人
- ② 認定新規就農者で青色申告している人
- ③ ①または②の要件を満たす経営主と家族経営協定を締結して経営に参画している配偶者、後継者 など

↓
月額最大1万円の保険料補助

詳しい内容のお問合せは…

お近くの農業委員会・JAへ！！

ハチを見かけたら巣づくり警報!

無料調査
ハチ駆除

近寄らず、触らず!!
ハチの駆除はプロにお任せください。

ハチの駆除をご希望の方は
最寄りのJAまでご連絡ください。
JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの
地区担当者が訪問させていただきます。



お問い合わせ先

**最寄りのJA各支店に
お問い合わせください**

取扱業者

(公社)日本しるあり対策協会企業登録(島根県002・鳥取県002)

Kodama 株式会社 コダマサイエンス

- 本社 / 島根県松江市西嫁島2-8-23 ☎0852-43-0852
- 松江営業所 / ☎0852-26-6757 ■ 出雲営業所 / ☎0853-31-9600
- 益田営業所 / ☎0856-22-5390 ■ 江津出張所 / ☎0855-52-6852
- 隠岐営業所 / ☎08512-2-2471



本誌は地球環境に優しい植物油インクを使用しております。



夏野菜と魚のポン酢和え



コメント

- ・夏野菜をたっぷり使用した主菜です。
- ・調味料はポン酢だけ！さっぱりとした味は、暑い夏にぴったりです。

アレンジ

- ・南瓜、ピーマン、ゴーヤ、レンコン、さつまいも、人参、ごぼうなどに替えても美味しくできます。
- ・魚を豚肉や鶏肉、牛肉、厚揚げに替えてもOKです！

材料（4人分）

- 魚（写真は飛魚）……………2尾
- 塩こしょう……………少々
- 小麦粉……………大さじ1
- ごま油……………小さじ2
- 茄子……………2本（約300g）
- トマト……………1個（約150g）
- ズッキーニ（黄）……………1本（200g）
- ポン酢……………大さじ3
- 青しそ……………4～5枚

作り方

- ①魚は3枚におろして3等分にし、塩こしょうをふって小麦粉を薄くまんべなくまぶす。
- ②フライパンを熱し、ごま油を入れ、①の魚を火が通るまでしっかりと焼き、ボウルに入れる。
- ③茄子は皮をむいて一口大の乱切りにし、耐熱皿に乗せて軽くラップをして、レンジ（600w）に5分間かけて火を通す。
- ④ズッキーニは5mmの厚さに切り、フライパンで素焼きにする。
- ⑤トマトは2cm角に切る。
- ⑥準備した茄子、ズッキーニ、トマトを②のボウルに入れ、ポン酢を加えて大きく混ぜ合わせる。
- ⑦皿に盛り、せん切りにした青しそを添える。

材料（4人分）

- そうめん……………4束（200g）
- きゅうり……………2本
- 人参……………1/2本
- 玉ねぎ……………1/2個
- ハム……………4枚
- とうもろこし……………50g
- マヨネーズ……………大さじ8
- 顆粒コンソメ……………小さじ2
- 塩……………少々
- こしょう……………少々

作り方

- ①そうめんはたっぷりのお湯で表示通りに茹で、冷水に取ってザルにあげ、水気をしっかりとる。
- ②きゅうりは3mmの厚さの輪切りにし、塩を少々ふってしんなりとさせ、水気を絞る。
- ③人参は斜め薄切りにしてから細せん切りにする。（軟らかく仕上げたい時は、下茹でする。）
- ④玉ねぎは薄切りにして水にさらし、水気を絞る。
- ⑤ハムは半分に切って、細切りにする。
- ⑥ボウルに準備した材料（とうもろこしを含む）を全部入れ、マヨネーズと顆粒コンソメを加えて和え、最後に塩とこしょうで味を整える。

アレンジ

- ・ゴーヤ、ズッキーニ、トマト、わかめなどいろいろな食材に替えても美味しくできます。
- ・ハムは、焼き豚や竹輪、ツナ缶、カニかまぼこなどに替えても楽しめます。

コメント

- ・サラダそうめんは、野菜もたっぷり！柔らかな食感でパスタより食べやすいです。
- ・食卓でしようゆを少々かけて食べると、ご飯のおかずにもバッチリ！
- ・おかずの一品にする場合は、材料を分量量にするとちょうど良くなります。

サラダそうめん



健康散歩

JA島根厚生連

夏の睡眠

夏の夜、暑さで寝苦しくて眠れない、途中で目が覚めてしまうという経験はありませんか？睡眠には心身の疲労を回復する働きがありますが、睡眠不足や睡眠の質に関する問題は、心身の健康に影響を及ぼすだけでなく、本人の自覚がいまま集中力や記憶力の低下が起こるため、日常生活でもケアレスミスが多くなってしまいます。

寝苦しい夏の夜でも睡眠がとれるようにポイントをあげていますので試してみてください。



～夏の快適な睡眠へのポイント～

1. 睡眠環境を整える

室温26～28℃前後、湿度50～60%が睡眠のうえで最適な室内環境と言われています。エアコンの冷房機能だけでなく除湿機能も使いましょう。扇風機も併用するとよいでしょう。

2. 眠る1～2時間前にぬるめのお湯（38.0℃程度）で入浴する

入浴することで熱の放散が盛んになり、深部体温（脳や内臓など体の内部温度）が下がることで入眠しやすくなります。



3. 寝具や寝衣を調節する

寝具は吸湿性と肌触りのよい竹や麻などの自然素材のものや、接触冷感素材のものを使用するとよいでしょう。寝衣は半袖、半ズボンであると手首や足首に直接冷気があたり、体を冷やしすぎてしまう場合があるので、ゆったりとした長袖・長ズボンが理想的です。



快適な睡眠がとれるよう、できることから取り入れて、熱い夏を元気に過ごしましょう。

【編集後記】 うだるような暑さが続いています、そんな日こそ夏野菜たっぷりのカレーが食べたい今日この頃です◎夏野菜といえばトマトやナスなどですが、ピーマンは2つに切って氷水にひと晩漬けておくと、パリパリのおいしいピーマンに変身するのだとか（ネット情報）。今年は家庭菜園でピーマンを育てているのでやってみたいな～と思います…！皆さんも野菜のおいしい食べ方を知っていたらぜひ教えてください◎（古）